

No.261

1985年7月 第1号発行

2007 March

平成19年

3月

波紋

PUBUSHER: 森松株式会社
EDITOR: 小坂美香



「はだか祭」

<はだか祭とは...>

◆国府宮神社で行われる「はだか祭」は、正しくは「離道神事」(なおいしんじ)といひます。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)、称徳天皇が全国の国分寺に悪疫退散を祈れと勅命を發したとき、尾張国司が尾張総社である尾張大國霊神社で厄払いをしたのが、離道神事となって現在まで伝えられています。

目立つ節分行事が近在になかったせいもあり、春を呼ぶ形で定着したこの神事に、裸の真参り風習がツギキリして現在の祭になったのは江戸末期のことです。裸の激突という形態は、昔、いやがる人を神官が取り押さえ、捕まえてきて離道人(なおいしん・神男)に住立てた、そのもみ合いを受け継ぐものとされています。



◆祭りの開催日は毎年旧暦正月13日、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円から、サラシのふんどし、白足袋をつけただけの数千の裸男が集まります。寒さを吹き飛ばす「ワッショイ」のかげ声ともみ合いの熱気が国府宮神社にはち切れまします。

裸男たちは、群れをなし威勢良く「なおい笹」を捧げて、拝殿へ駆け込みます。これは、裸になれない老若男女が氏名、年齢等を書いて祈念を込めた布(なおいざれ)を結びつけた青竹を、裸男が身代わりとしてかつぎ込み厄除けを祈願するのです。

午後4時半過ぎ、参道の一角に素っ裸の神男が一同に守られてひそかに登場します。それを見つけた裸男たちが「ウォー」と殺到し、神男に触れて厄を落とそうとさすまじいもみ合いになります。

裸男たちに浴びせられる手桶の水は、体熱でたちまち湯煙となり、水にひるむスギをついて、神男の一同がシリシリと境内右手奥の離道殿へ達するまでの一時間弱がこの奇祭のクライマックスです。

※今年は3月2日(金)に行われます。興味のある方は、一度行ってみてはいかがでしょうか?

『不都合な真実』

社長 森 直樹



今年の冬は例年以上に温暖な印象があります。しかし温暖化の影響でしょうか?

先日、話題の映画「不都合な真実」を見ました。地球規模の温暖化で異常気象が起こり、生態系が崩れ、人間自身が起こした温暖化によって自分たち自身が危機に瀕するだろうというメッセージを一時は大統領になるかと思われたアル・ゴアの活動を通して投げかけています。

驚くことに世界を主導していくはずのアメリカが、この温暖化に大きく影響しているというのです。京都議定書では日本マイナス6%、アメリカマイナス7%、EUマイナス8%という温室効果ガスの削減が採択され、日本では「チームマイナス6%」という政府主導のプロジェクトも進められております。しかしながらアメリカは依然として京都議定書には署名せず、反面アメリカの219都市が独自に署名するといつ状態です。

企業レベルで考えると、誰かの苦痛の上に成り立つ利益は決して長続きしないどころか、その反動がいつか跳ね返ってくることになるでしょう。人間関係においても同様です。つまり、仕入れ先も得意先もお互いが利益を出せる関係を保ち、お互いに感謝する事が必要であると考えます。私たちの住む地球に対しても、そこから恩恵を得るだけではなく感謝し、生活の中で環境を保つ働きかけをするべきです。

私たちが私たちの未来のために出来ることは何でしょうか? ぜひとも一度下記HPも参照して頂ければと思います。

「チームマイナス6%」
<http://www.team-6.jp/>
映画「不都合な真実」
<http://futsugou.jp/>

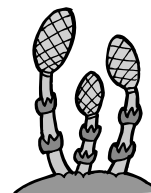
naoki@morimatsu.net

2007年 3月

の予定

31日(土)	30日(金)	24日(土)	21日(水)	20日(火)	12日(月)	10日(土)	6日(火)	3日(土)
第五土曜休み	久保田裕子さん誕生日 経営会議 16時30分〜	生産会議 12時〜	春分の日	森直樹社長誕生日	成瀬勝英さん誕生日	松井宣和さん誕生日	坂井田時子さん誕生日	第一土曜休み

CS向上会議 15時10分〜



今年のスギ花粉

今年の2月は、平均気温が高く暖冬傾向ですが、こうも暖かい日が続きますと本格的に始まる花粉症が気になります。そこで、今年の花粉の傾向を調べてみました。

<平成19年春の花粉飛散量は?>

平成19年スギ・ヒノキの花粉飛散量は、全国的に例年(過去10年の平均)より少ないでしょう。

<平成19年春の傾向について>

毎年春の花粉飛散量は、前年夏の気象条件の影響を強く受けます。猛暑で日照時間の多い場合は、花芽が生長し花粉の量が増加しますが、冷夏で日照不足の場合は花粉の量は減少します。

昨年夏は、気温は平年並みのところが多かったものの、花粉の量の増減に最も影響を与える7月の日射量や日照時間が全国的に少なく、平成19年春の花粉飛散量は例年に比べ全国的に少なくなるでしょう。また昨春の花粉飛散量は西日本では例年並のところが多く、一方東日本や東北では記録的に少なくなりました。平成19年春の花粉飛散量は、西日本では例年並の飛散量が期待できないことから昨春よりも少なく、東日本や東北では昨春よりは飛散量が多くなる見込みです。

(情報:日本気象協会)

スギ花粉がダメな人は北海道や沖縄に、スギはほとんど存在しないためスギ花粉症がなかったりします。でも、北海道ではシラカバ花粉症があります、花粉症は地域によって特色がありそのほかにも、スギ・ヒノキ・マツ・ハンノキ・イネ科とあるそうです。

『早くも...』

加藤貴幸(配送部)



三月でちょうど社会人になって二年になります。感想を率直に言うといふと、「二年あつという間でもっとも早かったです」

この一年で自分自身充実していったと思います。たくさん先輩方に仕事を教えてもらい、今までやったことのないことがたくさんあつて新鮮で勉強になりました。自分の中で一番自信になったのは、P O Pの梱包を任せていただいたことが一番嬉しかったです。

シルバーさんに働いていただくのにやりやすく、気持ちよく作業していただけたためにどうするか、次どうすれば作業効率が上がるかなどを考えたりしてやらせてもらいました。

自分の足りないところを先輩方やパートナーに助けってもらったりもしましたが少しずつできるようになっていくと嬉しくなりました。また、作業終了時にシルバーさんがまた是非ここで働かせてねって言うてくれた時は仕事が凄くおもしろく感じました。

今後も初心の心で仕事を楽しみながらやって行きたいと思っています。

第5回 タイムマシーン (1992年3月号 波紋 紙面より)

波紋

1992 3 第81号

先日、鈴蘭高原へスキーに行ってきました。天気良く、風もなく、絶好のスキー日和でみんな思う存分スキーを楽しみました。

私の今年の目標はスキーの上達です。来年も同じ目標で頑張ります。 松井 宣和



スキー同好会

『聞かせる』

加藤雅昭 (営業部)



人間の可聴範囲は？通常人の周波数特性の限界は20Hz～20kHzといわれています。ですからSACDやDVDが発売されるまでのオーディオ機器はすべてこの値が基準とされてきました。ところがSACDが発売されてから周波数特性は20Hz～100kHzというようなSACDプレーヤー・アンプ・スピーカーが発売されています。でもこれってほんとに聞こえるの？先日オーディオショップに行ったときに視聴させてもらったんだけど、確かに繊細になった(なったような気がする)？気はしましたが、これって気分だけ？のような感じもします。確かにCDとSACDでは録音方法も違うので、SACDがより自然に近い録音になるのは分かりますがほんとに聞こえる？

今流行のデジタルオーディオプレーヤー、圧縮方法はMP3がメインですが、これだと圧縮の段階で高ビットレートにしても通常のCDにはかきません。しかしこれでも十分と思う人のほうが多い？またオーディオショップなどに行くと、ケーブルを変えるだけで音が激変すると言っていますが他の条件が同じであれば確かに、4Nの線材より6Nの線材を使う方がいいかもしれません。しかし、導線の電気抵抗の原因はこの程度の純度の銅線だと殆ど熱抵抗が決まっています。4N銅と6N銅の電気抵抗率の違いは温度差にしてせいぜい1度くらいです。(温度が低くなれば抵抗は下がります)それが10000円台のものから809円のものまでいろいろあります。これはやっぱり迷信？じゃないかなあ。ちなみに私は3000円/mで十分です。…とか考えながら今日も一人でいろいろ聞いています。本当にどこまで聞こえているんだろう？でも、やっぱり音は良い方がいいですよ。え？やっぱりおたく？ちがいますよ単なる趣味です。趣味。

『ええねん動続』

光田昭男 (企画営業部)



良いことなのか、悪いことなのか、お世話になり約30年になります。現在、永年勤続最長記録を更新中です。中小企業の厳しさなのか、定年退職者が約30年存在しないのです。事務所内を見渡せば、営業マンの平均年齢46歳。勤続年数平均23年、社内での生き残り組です。お蔭様で社員のコミュニケーションは最高ですが47歳の永遠の若い衆が、イベントなどを盛り上げています。

名古屋地区での塩ビ関連商品一般雑貨品を扱う商社の動きは、営業マンを減らして縮小しているのが現状です。お客様での会話にて、名古屋で生き残るのは森松さんだけだよ。でも若い人がいないよねと…そうですね。

「一般雑貨品を扱うことは、覚えることが多く、約10年の経験が必要とされる。営業を経験していない人の意見としては、3年もあれば大丈夫と言われるが、そんなにあまり業界ではない。多品種・少ロットの対応ばかりで少しでも見積りを間違えれば損をしてしまうことになってしまふ。使用用途により、適切な材料・加工方法を提案しなければならぬのです。フィルム・シート・PP・印刷・高周波加工などなど、経験のなかからの提案になり、商談に結びつくことになりまふ。

社内の30%は、お客様から問い合わせをいただいても答えることが出来ないのが現状です。優秀な営業アシスタント2名に助けられ、営業も安心して営業活動に専念しています。

2月30歳 1名 3月29歳 1名 退社してしまふ。従業員の平均年齢も売上げ共に、上昇気配です。

『ETC』

岩間正美 (総務部)



社用車、マイカー共にETCを載せて使用することが増えてきました。料金所で止まることもなくスムーズで、通勤割引、深夜割引と値打ちに利用できることも魅力で、どこかへ出かけるときはできるだけ割引を利用できる時間帯を選んで移動するように心がけています。でも、いいことばかりでも無く、カードの入れ忘れで急停車し、追突事故も多いようです。

私も先日カードを入れ忘れゲート直前で急停車してしまいました。後続車との車間距離があったため事故にはなりませんでしたが、非常に怖い思いをしました。かといってカードを差しっぱなししておくこともできず、差し忘れないようにできるだけ気を付けるようにしています。

また、通勤割引、深夜割引等は、東/中/西日本高速道路株式会社制度であり、他の有料道路では、そこまでの割引サービスは行われていません。私の利用している知多半島道路(有料)もマイレージポイントサービス(登録が必要)のみで割引率がとても低く回数券の方がすくお値打ちですが、その回数券も廃止となるようです。ETCを利用してのだから、今後はせめて回数券くらいの割引率にしてほしいと思います。

皆さんも出かけるときはETC割引を最大限活用できるように、時間帯や距離を考えて利用しましょう。

『閉店』

成瀬勝英 (配送部)



近所の大型スーパーが閉店するその最終日、女房と久しぶりに買い物に出掛けた。閉店前にも関わらず駐車場は満車状態で入店に随分時間が掛かってしまった。皮肉なもので、毎日がこの状態なら閉店など鼻から無い事だが、全品半額以下の赤字販売では無理も無い。

店内に入り6階建ビルの各階エレベーターで素通りしながら見回すと既にテナントの一部は引き払い、空間が目立つ。商品の有る中央のみ人が集まり、テナントの無くなった、両淵がガランとして奇妙に感じる。この店舗ビルが営業を始めて34年になるとの事だが、閉店当時は地元でパートが建つ噂で、随分話題になった記憶がある。ビルなど周りを見回しても、殆どこの地域には無かった時代で、ド田舎だったこの周辺が町に変わっていくようで、わくわくした覚えが有る。閉店の要因は築34年のビルが補修、維持管理が出来なくなったとの事だが、経営難が一番の原因だろう。最近では我家も数年前、近所の住宅街にオープンした大型スーパーに行く事が殆どで大型駐車場も完備されている便利さも有り、すっかり足が遠のいていたのだが、それでも無くなるとうやうや寂しい思いである。

帰り際、お客と思える中年男性が一人、しきりにデジタルカメラで店内を写しているのを覗かけたが、思い出の記録だろうか？生まれ育ったこの土地で子供の頃から変らない物は少ない。いつまでもそこに有ると思うと気にも留めない癖に、無くなると思うと妙に愛着を感じてしまふ、そんな思い、皆さんは有りませんか？